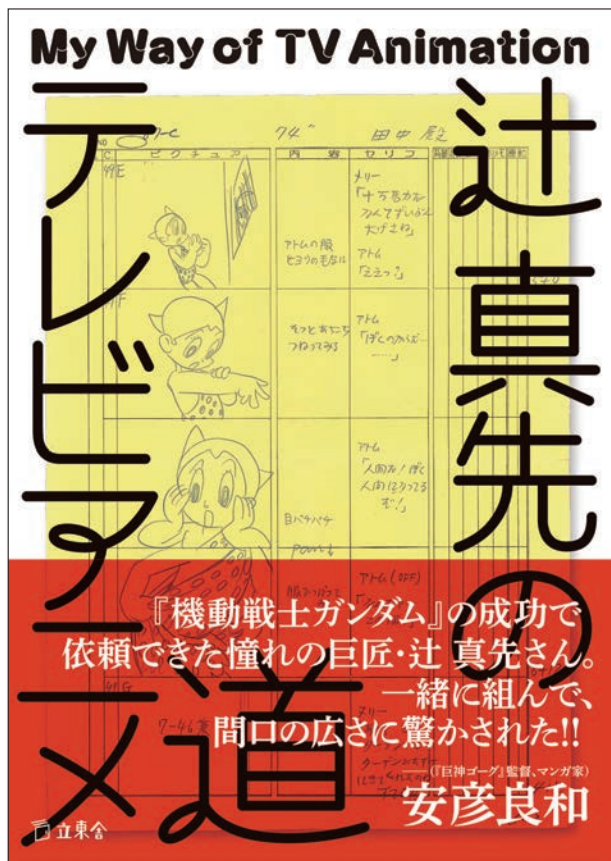


脚本執筆歴60年以上の巨匠が明かす テレビアニメ名作群の誕生秘話!



『機動戦士ガンダム』の成功で、
依頼できた憧れの巨匠・辻 真先さん。
一緒に組んで、間口の広さに驚かされた!!
安彦良和(『巨神ゴーク』監督、マンガ家)

シリーズ構成などまだなかった時代に「第1話」の脚本を数多く執筆してきた辻 真先は、テレビアニメ作品誕生の鍵を握る重要人物です。そんな辻が本書では、『ジャングル大帝』から『巨神ゴーク』まで21作品の「第1話」について、原作者や監督、プロデューサーとのやりとりも含めて回想。また、『サイボーグ009』第16話「太平洋の亡霊」など名作のほまれ高い作品群についても創作の裏話を開陳。日本のアニメがいかにして作られてきたのか、その秘密を明かします。本書は現場の声があふれる臨場感あるテレビアニメ史でもあり、表現論や技術論といった側面も持ち合わせる貴重な1冊となっています。

日本初のテレビアニメ『鉄腕アトム』、『エイトマン』からキャリアをスタートして60余年、常にアニメの現場で活躍してきた著者だからこそ語れる名作群の創作エピソードの数々。本書を一読してから鑑賞すれば、作品をより深く味わうことができるでしょう。

辻 真先のテレビアニメ道

8/24
配本

著者:辻 真先

定価:2,420円(本体2,200円+税10%) A5判 / 320ページ

CONTENTS

- 第1章 テレビの原野からアニメの荒野へ
- 第2章 第1話専用脚本家として
- 第3章 アニメあふれ話こぼれ話
- 第4章 アニメの未来へ
- 巻末特別寄稿 安彦良和

PROFILE

辻 真先(つじ・まさき) 1932年、愛知県生まれ。名古屋大学文学部卒業。NHKで番組制作・演出に携わった後に独立。『鉄腕アトム』、『ジャングル大帝』、『デビルマン』をはじめ、数多くのアニメ脚本を執筆し、日本のアニメ界を黎明期から支えてきた。ミステリ作家、旅行評論家、エッセイストとしても作品を発表。代表作に『迷犬ルパンの名推理』、『あじあ号、吼えろ!』などがある。『戦国獅子伝』、『聖魔伝』、『沖田総司』など、マンガ原作も多く手掛けている。1981年、『アリスの国の殺人』で第35回日本推理作家協会賞受賞。その他、アニメーション神戸賞特別賞、文化庁メディア芸術祭功労賞など、数々の賞を受賞。

番線印	タイトル	ご注文数
	[新刊] 辻 真先のテレビアニメ道 定価:2,420円(本体2,200円+税10%) ISBN978-4-8456-3651-8	新刊指定締切 8/6(金) 冊
	[既刊] アニメ・シナリオライターへの道 定価:1,980円(本体1,800円+税10%) ISBN978-4-8456-3287-9	冊
	[既刊] アニメーション用語事典 定価:2,200円(本体2,000円+税10%) ISBN978-4-8456-3315-9	冊